

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大正会館
施設所管課・担当	大正区役所地域協働課（地域協働グループ）（電話:4394-9743）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種事業の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること（区役所附設会館条例第2条第1項）
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 施設総合管理業務 (3) 地域のコミュニティ振興に寄与する事業
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	50%/80%
指定管理者名	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	50%	80%
年度実績	43.9%	95.8%
達成率	87.8%	119.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	43,731	27,932	15,799
稼働率	43.9%	38.2%	5.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,190,030	24,513,235	1,600,030	新型コロナウイルス感染症の影響の減収補填、電気代等の高騰の経費補填
	計画	22,590,000	23,886,000		
利用料金収入	実績	5,657,940	3,574,010	-188,060	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限による収入減
	計画	5,846,000	4,144,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	4,646,168	5,124,033	-1,763,832	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限による収入減
	計画	6,410,000	6,410,000		
合計	実績	34,494,138	33,211,278	-351,862	
	計画	34,846,000	34,440,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,939,507	16,351,417	0	
	計画	16,939,507	16,351,417		
物件費	実績	13,155,892	10,574,325	1,318,399	電気及びガス代等エネルギーコストの高騰に伴う光熱水費増
	計画	11,837,493	11,869,583		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	3,570,408	3,771,398	-1,664,592	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用制限による事業中止による事業費減
	計画	5,235,000	5,235,000		
合計	実績	33,665,807	30,697,140	-346,193	
	計画	34,012,000	33,456,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率	87.8%	B	数値目標である50%は達成しなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う利用制限等を考慮する。
利用者満足度	119.8%	A	数値目標の80%を上回り、指定管理者としての目標である90.5%も大幅に上回った。また、成果指標に係る数値目標の達成率110%以上も満たしている。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 R の実践 ・ 未使用エリア・時間帯の空調停止や消灯 ・ カラーコピーの削減、裏紙利用 ・ コピー用紙の再利用(裏紙の利用) 	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<p>相見積もりにより縮減した定期点検費用を修繕費用に充填した。また、安全確保が可能な小規模修繕を職員が行うことで委託費削減に努めた。</p> <p>周辺の治安が乱れないよう敷地内不法駐輪自転車への速やかな対応や、職員による噴水広場の定期清掃を行っている。また、独自のチェックシートにより敷地内巡視を行い、不審者侵入や事故等の未然防止に努めた。</p> <p>年に2回の消防訓練において、AEDの使用方法を復習し、事故や災害への備えられるよう努めた。</p>
事業計画の実施状況	B	<p>新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが不明な中、利用者が安心して会館を利用できることを目的に、利用者への除菌セットの貸出、スタッフによる3時間ごとの館内消毒の実施、また、管理シートで毎日点検を行うことで、感染症拡大防止対策と施設の利用促進の両立を図った。</p>

令和4年度 指定管理者年度評価シート

施設の有効利用	A	<p>自主事業について、地域防災との協働イベントや、「たいしょうみんなのショータイム」、「たいしょう愛ランド」など大正会館を拠点とする連携協働事業により幅広い世代が来館する機会を提供している。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により当初計画から中止した事業もあったが、ホームページやSNSを活用しての情報発信など、工夫を行っている。</p> <p>区役所の閉庁時間帯や閉庁日等、年末年始を除き開館している強みを活かし、地域コミュニティづくりのためのプラットフォームとして、地域で活動している各種団体相互間、また、それらの団体と行政との連絡調整が円滑に図られる場として活用されている。</p>
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>利用者満足度については、数値目標の80%や指定管理者が目標としていた90.5%を超え、昨年より4.2%上回る95.8%となり、目標は達成できている。満足度調査の内訳をみると「予約手続き」「スタッフの対応」の項目で100%、「清掃」「備品や設備」「感染対策」でも90%後半と、全項目で高い満足度を得ている。</p> <p>こうした高い満足度の「清掃」「備品や設備」「感染対策」項目でも「不満」の回答はあったが、指摘内容を基に具体的な改善策や対応がとられており、より快適に利用できるよう努める姿勢が見受けられる。また「予約手続き」「スタッフの対応」の項目においては満足度100%となっており、接遇研修や電話マナー講習を通じた利用者への丁寧な対応が成果として表れていると考える。</p>

6 外部専門家意見

<p>評価内容に概ね異論はなし。</p> <p>事業報告書の内容について、大正区は利用率の当初設定が他区と比較して低いのではないかと。4区すべて利用満足度の目標は見直さないのか。利用者アンケートの清掃において、行き届いていない状況への指摘に対する改善を指定管理者で済ますのではなく、コモンズ（共有財）として利用者に訴え、ともに解決してもいいのではないかと。</p> <p>地域コミュニティづくりのプラットフォームであることは評価できるので、事業報告書で読み取れたらさらに良い。</p>
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	<p>利用率に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う利用制限等により利用者数が減少していることを考慮する。</p> <p>利用者満足度は想定内の水準で目標を達成している。</p>
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B+	<p>事業計画書に掲げられた事業の遂行に加え、不法駐輪への対応や噴水広場の定期清掃、敷地内巡視などを行い、治安保持や事故等の未然防止に努めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、職員による定期的な館内消毒の実施や除菌セットの貸出により、利用者が安心して会館を利用できる環境の整備を進めた。</p> <p>地域コミュニティづくりのためのプラットフォームであり、地域の各種団体の交流の場として活用されている。</p>
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	